

不適切な服務管理

対象受検機関	検出事項	是正を求める事項				
西淀川支援学校	疾病等により30日以上休業又は休職していた職員の復業に当たっては、安全衛生管理者である所属長は総括安全衛生管理者である教育次長に対し、大阪府立学校職員安全衛生管理規程第31条に基づく病者の報告等を行わなければならないが、報告がなされていないものがあった。 <table><tr><td>職員</td><td>休業期間</td></tr><tr><td>A</td><td>令和４年９月12日から同年10月28日まで（47日間）</td></tr></table>	職員	休業期間	A	令和４年９月12日から同年10月28日まで（47日間）	検出事項について、原因を確認し、所属のチェック体制を強化する等、再発防止に向け必要な措置を講じられたい。 【大阪府立学校職員安全衛生管理規程】 （病者の報告等） 第31条 安全衛生管理者は、次の各号のいずれかに該当する職員が、療養に専念しないために就業を禁止する必要があると認めるときは、病者報告書（様式第４号）に医師の診断書を添付し、総括安全衛生管理者に報告しなければならない。疾病等により30日以上休業又は休職していた職員が復業又は復職するときも、同様とする。
職員	休業期間					
A	令和４年９月12日から同年10月28日まで（47日間）					
措置の内容						
未提出となっていた病者報告については、監査受検後、総括安全衛生管理者あて提出した。 検出事項の原因は、病者の報告について、管理職等が十分な認識を持っていなかったことによる。 再発防止に向けて、病者の報告について適切に行うよう周知徹底するとともに、休職者が復職する際、管理職等の複数職員で病者報告書を作成したかどうか確認を行うことによりチェック体制を強化した。 今後は、大阪府立学校職員安全衛生管理規程に基づき、適正な事務処理を行う。						

監査（検査）実施年月日（委員：令和一年一月一日、事務局：令和５年 11 月 21 日）